



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月10日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東
 コード番号 7453 URL <https://ryohin-keikaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 暁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画室長 (氏名) 杉山 孝太 TEL 03-3989-5972
 四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	78,753	△29.9	△2,899	—	△3,665	—	△4,116	—
2020年2月期第1四半期	112,328	5.5	10,354	△22.3	9,603	△28.6	6,594	△30.9

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 △6,704百万円 (ー%) 2020年2月期第1四半期 7,700百万円 (△30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	△15.65	—
2020年2月期第1四半期	25.10	25.05

(注) 1. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期第1四半期	353,253	197,110	54.7	735.26
2020年2月期	306,512	208,492	66.6	775.77

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 193,392百万円 2020年2月期 204,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	182.00	—	18.20	—
2020年8月期	—				
2020年8月期（予想）				5.00	5.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2020年2月期の第2四半期末の配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 当社は、2020年5月27日開催の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認され、決算期を2月末日から8月31日に変更いたしました。従いまして、経過期間となる2020年8月期は、6ヵ月間の決算期間となっております。

4. 配当予想については、本日（2020年7月10日）公表いたしました「2020年8月期業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2020年3月1日～2020年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	174,500	—	△2,000	—	△2,900	—	△3,900	—	△14.83

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
 2. 2020年8月期は決算期変更の経過期間となることから、2020年8月期の連結業績予想においては、対前期増減率の記載を省略しております。
 3. 連結業績予想については、本日（2020年7月10日）公表いたしました「2020年8月期業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名 ー）、除外 一社（社名 ー）
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
 詳細は【添付資料】P.8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期1Q	280,780,000株	2020年2月期	280,780,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	17,754,940株	2020年2月期	17,762,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期1Q	263,022,665株	2020年2月期1Q	262,720,790株

（注）当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛・休業要請等に加え、4月の緊急事態宣言の発令・対象地域拡大の影響により、個人消費や企業活動が著しく制限され景気が急速に悪化いたしました。緊急事態宣言は解除されたものの、感染リスクが残る中で一定の経済活動制限や自粛が続き、先行きの不透明な状況が続いております。

世界経済は、米国貿易摩擦の激化などに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、急速かつ大幅に悪化しております。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良い暮らし」を実現する企業”として、『ムダをなくす』『天然資源の保全』『安心・安全』『絆を大切に作る』『温暖化への配慮』をテーマに、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

営業収益	787億53百万円（前年同期比 29.9%減）
売上高	785億9百万円（前年同期比 30.0%減）
営業損失（△）	△28億99百万円（前年同期は103億54百万円の利益）
経常損失（△）	△36億65百万円（前年同期は 96億3百万円の利益）
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△41億16百万円（前年同期は 65億94百万円の利益）

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、文中の店舗数は、無印良品、MUJIcom、MUJI to Go、Cafe MUJI、Cafe&Meal MUJI、IDEE店舗等の合計を表記しております。

① 国内事業

国内事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は518億29百万円（前年同期比28.2%減）、セグメント損失は9億90百万円（前年同期は70億1百万円の利益）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の国内事業店舗数は、477店舗（前期末同様）となりました。

新型コロナウイルス感染拡大による営業自粛の影響を受け、売上、客数共に前年を大きく下回りました。一方でオンラインストアの販売は好調に推移いたしました。特に巣ごもり需要で生活小物、食品といった生活に不可欠な商品、ホームオフィス需要の高まりから関連する商品が堅調でした。

大部分の店舗が閉鎖という状況のなか、オンラインでの販売を強化いたしました。

店舗閉鎖の影響で営業収益が減少した結果、セグメント損失となりました。

② 東アジア事業

東アジア事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は195億14百万円（前年同期比36.7%減）、セグメント利益は14億41百万円（同69.2%減）と減収減益になりました。

当第1四半期連結会計期間末の東アジア事業店舗数は、404店舗（前期末差1店舗増）となりました。

中国大陸では、新型コロナウイルス感染症の拡大影響による店舗閉鎖が1月より始まり、店頭の上は前年を下回りました。一方でオンラインストアは前年を超える売上となりました。

韓国、香港は新型コロナウイルス感染症の影響で業績が悪化いたしました。台湾においては影響が小さく、比較的堅調に推移いたしました。

③ 欧米事業

欧米事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は41億14百万円（前年同期比30.0%減）、セグメント損失は19億91百万円（前年同期は5億57百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の欧米事業店舗数は、71店舗（前期末同様）となりました。

欧州においては、各国で3月より新型コロナウイルス感染症の拡大影響によるロックダウンが実施され、オンラインストアでの販売を含め、大部分の店舗で営業停止となりました。

北米では、生活雑貨を中心に比較的堅調に推移しておりましたが、3月の新型コロナウイルス感染症の拡大影響によるロックダウン後は全店舗が閉鎖されました。

店舗閉鎖の影響で営業収益が減少した結果、セグメント損失が増加いたしました。

なお、欧米事業の一部の店舗において、業績改善の見通しが立たないことから15億32百万円の減損損失を計上いたしました。

④ 西南アジア・オセアニア事業

西南アジア・オセアニア事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は32億92百万円(前年同期比5.6%減)、セグメント損失は1億3百万円(前年同期は2億81百万円の利益)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の西南アジア・オセアニア事業店舗数は、82店舗(前期末同様)となりました。

西南アジア各国では、生活雑貨を中心に好調に推移していましたが、3月後半の新型コロナウイルス感染症の拡大影響によるロックダウンで多くの店舗が閉鎖となり影響を受けました。

オーストラリアでは、1月は森林火災がシドニー、キャンベラの営業に影響し、鎮火後は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け客数が減少いたしました。

店舗閉鎖の影響で営業収益が減少した結果、セグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は3,532億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ467億41百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加370億6百万円、商品の増加72億10百万円及び受取手形及び売掛金の増加49億44百万円によるものです。

負債は1,561億43百万円となり、581億23百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加699億25百万円、買掛金の減少68億25百万円及び未払金の減少26億77百万円によるものです。

純資産は1,971億10百万円となり、113億82百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少89億14百万円及び為替換算調整勘定の減少13億47百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の66.6%から54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年7月10日)公表いたしました「2020年8月期業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,814	75,820
受取手形及び売掛金	10,010	14,955
商品	105,148	112,358
仕掛品	217	314
貯蔵品	49	58
未収入金	11,598	9,174
その他	5,440	6,940
流動資産合計	171,279	219,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,337	61,638
減価償却累計額	△28,246	△28,973
建物及び構築物(純額)	35,090	32,664
機械装置及び運搬具	4,851	4,803
減価償却累計額	△2,642	△2,731
機械装置及び運搬具(純額)	2,209	2,072
工具、器具及び備品	25,554	25,630
減価償却累計額	△14,482	△15,090
工具、器具及び備品(純額)	11,072	10,539
土地	1,866	1,866
リース資産	88	88
減価償却累計額	△27	△28
リース資産(純額)	61	59
使用権資産	37,695	40,323
減価償却累計額	△6,428	△8,066
使用権資産(純額)	31,267	32,256
建設仮勘定	896	1,136
有形固定資産合計	82,463	80,594
無形固定資産		
のれん	3,432	3,174
ソフトウェア	18,896	19,225
その他	2,001	2,116
無形固定資産合計	24,330	24,516
投資その他の資産		
投資有価証券	4,097	4,016
繰延税金資産	1,711	1,884
敷金及び保証金	18,694	19,030
その他	4,055	3,706
貸倒引当金	△119	△118
投資その他の資産合計	28,439	28,520
固定資産合計	135,233	133,631
資産合計	306,512	353,253

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,133	21,307
短期借入金	4,200	4,196
1年内返済予定の長期借入金	—	836
未払金	9,250	6,573
未払費用	5,450	5,007
未払法人税等	2,631	852
リース債務	7,431	7,193
賞与引当金	1,334	881
役員賞与引当金	38	9
ポイント引当金	231	305
その他	4,345	3,584
流動負債合計	63,048	50,748
固定負債		
長期借入金	873	70,799
繰延税金負債	3,334	2,698
リース債務	25,266	26,508
役員退職慰労引当金	40	44
その他	5,456	5,343
固定負債合計	34,971	105,394
負債合計	98,019	156,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,875	10,884
利益剰余金	199,590	190,675
自己株式	△13,984	△13,965
株主資本合計	203,246	194,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,604	1,542
繰延ヘッジ損益	1,652	1,300
為替換算調整勘定	△2,462	△3,810
その他の包括利益累計額合計	794	△967
新株予約権	754	846
非支配株主持分	3,696	2,871
純資産合計	208,492	197,110
負債純資産合計	306,512	353,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	112,124	78,509
売上原価	55,920	41,892
売上総利益	56,203	36,616
営業収入	204	243
営業総利益	56,408	36,860
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,961	1,156
配送及び運搬費	5,729	5,533
従業員給料及び賞与	13,169	11,736
役員賞与引当金繰入額	△1	7
借地借家料	9,604	6,314
減価償却費	3,942	5,209
ポイント引当金繰入額	53	74
その他	11,595	9,727
販売費及び一般管理費合計	46,053	39,760
営業利益又は営業損失(△)	10,354	△2,899
営業外収益		
受取利息	145	76
受取配当金	2	2
貸倒引当金戻入額	—	0
持分法による投資利益	15	10
その他	194	267
営業外収益合計	358	357
営業外費用		
支払利息	182	300
為替差損	910	792
その他	16	29
営業外費用合計	1,109	1,122
経常利益又は経常損失(△)	9,603	△3,665
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
減損損失	—	1,769
固定資産除却損	45	29
その他	—	4
特別損失合計	45	1,803
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,558	△5,468
法人税等	3,044	△736
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,513	△4,731
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△81	△614
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,594	△4,116

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,513	△4,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△292	△62
繰延ヘッジ損益	650	△352
為替換算調整勘定	830	△1,556
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	1,187	△1,972
四半期包括利益	7,700	△6,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,767	△5,879
非支配株主に係る四半期包括利益	△67	△825

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	72,141	30,821	5,880	3,485	112,328	0	—	112,328
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	0	—	—	—	0	6,338	△6,338	—
計	72,141	30,821	5,880	3,485	112,328	6,338	△6,338	112,328
セグメント利益 又は損失(△)	7,001	4,683	△557	281	11,408	155	△1,210	10,354

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,210百万円にはセグメント間取引消去△51百万円、棚卸資産の未実現利益消去465百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,624百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	51,829	19,514	4,114	3,292	78,750	2	—	78,753
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	0	—	—	—	0	2,030	△2,030	—
計	51,829	19,514	4,114	3,292	78,751	2,032	△2,030	78,753
セグメント利益 又は損失(△)	△990	1,441	△1,991	△103	△1,643	69	△1,325	△2,899

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,325百万円にはセグメント間取引消去△42百万円、棚卸資産の未実現利益消去301百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,585百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社が行う海外の無印良品ライセンス供与先への商品卸売事業を西南アジア・オセアニア事業として区分してきましたが、経営管理体制等の実態を踏まえ、国内事業へと区分する方法に変更しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、主に当社の共通コストの配分方法を見直すとともに、東アジア事業、欧米事業及び西南アジア・オセアニア事業の各セグメントに配分していた費用等の一部については、全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧米事業」セグメントにおいて、1,532百万円の減損損失を計上しております。これらを含め、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において1,769百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。